

## 小学校4年 放送番組とロイロノート（jamboard）を連動させた道徳授業作り

東京都杉並区立新泉和泉小学校 稲田 路子

### 【実践報告の概要】

NHK for School の番組を授業中に一斉視聴し、併せて1人1台端末を活用するためには情報活用能力を高めたいと考えた。そこで端末と放送番組を活用した GIGA 時代における新たな道徳の授業を模索した。端末を活用することで、自主的な学びを深められるように今後も実践を重ねて考察していきたい。

### 【取組の具体】

#### 小学校4年 道徳「相互理解・寛容／個性の伸長」

##### 1. 今日の学習のめあてを確認する。

- ・友達との関係について考えることを知る。
- ・本時の学習教材を知る。

##### 2. 授業前の課題に対する自分自身の考えをまとめる。「友達のどんなところが好きですか」

- ・ロイロノートで提出箱を作って白い紙に書いて提出する。  
(・jamboard の場合はシートを作り白付箋で書いて提出させる)

→テキストマイニングなどで言葉を可視化するとよりわかりやすくなってよい。

- ・1人1枚ずつ書いてオンラインで無記名にして前に掲示していく。
- ・他の児童の意見も見てかいてもよい状態にして共有を認める。

##### 3. 番組を一斉視聴する。

- ・視聴するときに登場人物の「菜（さい）」と「マコ」のよいところを探しながら視聴するように指導する。

##### 4. ワークシートに、「菜（さい）」と「マコ」の友だちとしてよいところを書かせて、話し合う。

- ・よいところをかいているうちに自分は友達のどんなところが好きなのかを考えていることに気付かせる。
- ・教師の説話を聞く。

##### 5. 授業後に課題に対する自分自身の考えをまとめる。「友達のどんなところが好きですか」

- ・ロイロノートで提出箱を作って黄色の紙に書いて白い紙につなげて提出する。  
(・jamboard の場合は新たにシートを作り白付箋で書いて提出させる)

→テキストマイニングなどで言葉を可視化するとよりわかりやすくなってよい。

- ・前半と後半でどのように変容したかを共有する。
- ・全員の意見を無記名状態で共有する。
- ・ワークシートに今日のふり返りを書いて、学習を振り返る。

普通に接してくれる人



相手の言うことに、積極的に意見を言う人

### 【活用番組と実践者による番組分析】

#### 活用番組「もやも屋」

○児童の心のもやもやから道徳的なことを考えさせる内容となっており、児童の実態や身に付けさせたい力によって、放送回を選んで視聴することができる。

○児童が親しみや共感をもって好んで視聴している番組である。

○黒板絵や指導案・ワークシートがあり、授業準備が少なくてすむのも便利である。

### 【本実践における工夫点】

#### 学習計画の工夫

・一斉視聴をさせた。同じ画面を見て意見を言い合いやすくするためである。

・意見の交流には、隣り合った児童とまず行い、従来の黒板も使い意見を提示するなど安心して意見が言える場や環境づくりを行い意見が言いやすい環境を整える。

・1人1台端末を使って1人1人で考えて提示できるようにした。また授業前と後で児童の考え方や気持ちの変容をわかるように意図的に書く作業を指導に組み入れた。

・話し合いの他に授業前後に気持ちを言語化したものを見合い自分の気持ちの変容を感じさせる。

#### 放送回の選定

・本学級の実態に合わせて、児童に身に付けさせたい力を考え、放送回を選定した。

・年間指導計画に準じて本放送回を選択した。

### 【本実践の成果○と課題●】

○番組視聴を通して、友達に対して好きなところはどこかを考えてどう接したらいいかをお互いに理解することができた。

○GIGA 端末と放送番組を使って児童の変容を見取ることができた。そのため評価においても適切に処理することができた。

●「もやも屋」は、道徳授業以外でも児童自身が各家庭で視聴している番組である。今後どのような場面で活用できるのか授業づくりの視点から考えていきたい。